

北海道浮魚ニュース

平成 16 (2004) 年度 16 号 (通巻 No.180)

2004 年 9 月 10 日

北海道立水産試験場

道東太平洋マサバ・マイワシ漁期中調査結果

北辰丸(釧路水産試験場調査船)によって行われたマサバ・マイワシ漁期中調査の結果をお知らせします。

調査期間：2004 年 9 月 2 日～9 月 7 日

調査海域および調査点：道東太平洋(北緯 40 度 30 分～42 度 31 分，東経 143 度 29 分～145 度 50 分)における 5 調査点(図 1，表 1)

調査方法：9 種類の目合(22,25,29,37,48,55,63,72,82mm)の流し網を用いた漁獲試験

獲試験を行った 5 調査点の表面水温は 15.8～18.6 (前年 13.3～20.9)，100m 層水温は 2.2～6.9 (前年 1.7～11.8)でした(表 1)。漁獲試験の結果は表 1 のとおりで，流し網調査 1 回当たりの漁獲尾数(CPUE)の経年変化は図 2 のとおりです。

サバ類(マサバ、ゴマサバ)は，全ての調査点で 3～214 尾，合計 458 尾漁獲されました。CPUE は 91.6 尾/回で，前年の 19.9 尾/回を上回り，1995 年以降では 1996 年・2002 年に次ぐ，3 番目に高い水準でした。魚体は体長 18～26cm 台で，20 cm 台と 23 cm 台が主体でした。

マイワシは，1 調査点で 1 尾漁獲されました。CPUE は 0.2 尾/回で，前年の 129.6 尾/回を大きく下回り，1995 年以降では低い水準でした。魚体は体長 17 cm 台でした。

カタクチイワシは，4 調査点で 32～18,474 尾、合計 20,023 尾漁獲されました。CPUE は 4,004.6 尾/回で，前年の 4,882.3 尾/回を下回りましたが，1995 年以降では依然高い水準でした。魚体は体長 10～14cm 台で，13 cm 台が主体でした。

サンマは，全ての調査点で 1～26 尾，合計 35 尾漁獲されました。CPUE は 7.0 尾/回で，前年の 519.4 尾/回を大きく下回り，1995 年以降では極めて低い水準でした。魚体は体長 28～33 cm 台で，31 cm 台が主体でした。

スルメイカは，2 調査点で 46～82 尾，合計 128 尾漁獲されました。CPUE は 25.6 尾/回で，前年の 108.7 尾/回を下回り，1995 年以降では低い水準でした。

アカイカは，全ての調査点で 1～184 尾，合計 368 尾漁獲されました。CPUE は 73.6 尾/回で，前年の 68.4 尾/回を上回りましたが，1995 年以降では低い水準でした。

(文責：釧路水産試験場 資源管理部，TEL:0154-23-6222，FAX:0154-23-6225)

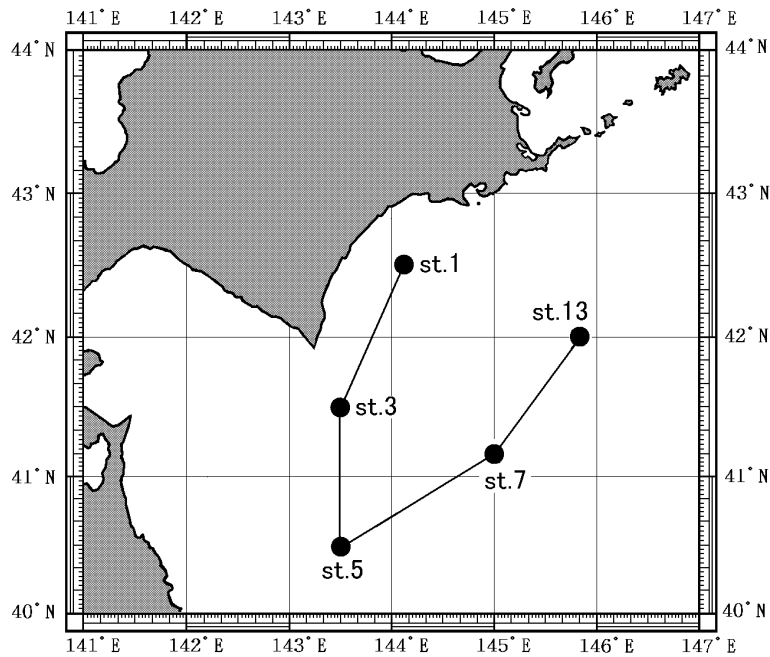


図1 漁獲試験調査点

表1 表面水温および魚種別採集尾数

調査地点	ST.1	ST.3	ST.5	ST.7	ST.13	合計
表面水温	15.8	18.6	18.1	18.4	18.5	
100m水温	2.5	2.5	2.3	2.2	6.9	
サバ類	51	173	214	17	3	458
マイワシ	1					1
カクチワシ	18,474	962	555	32		20,023
サンマ	2	1	26	5	1	35
スルメイカ		82	46			128
アカイカ	1	2	62	119	184	368

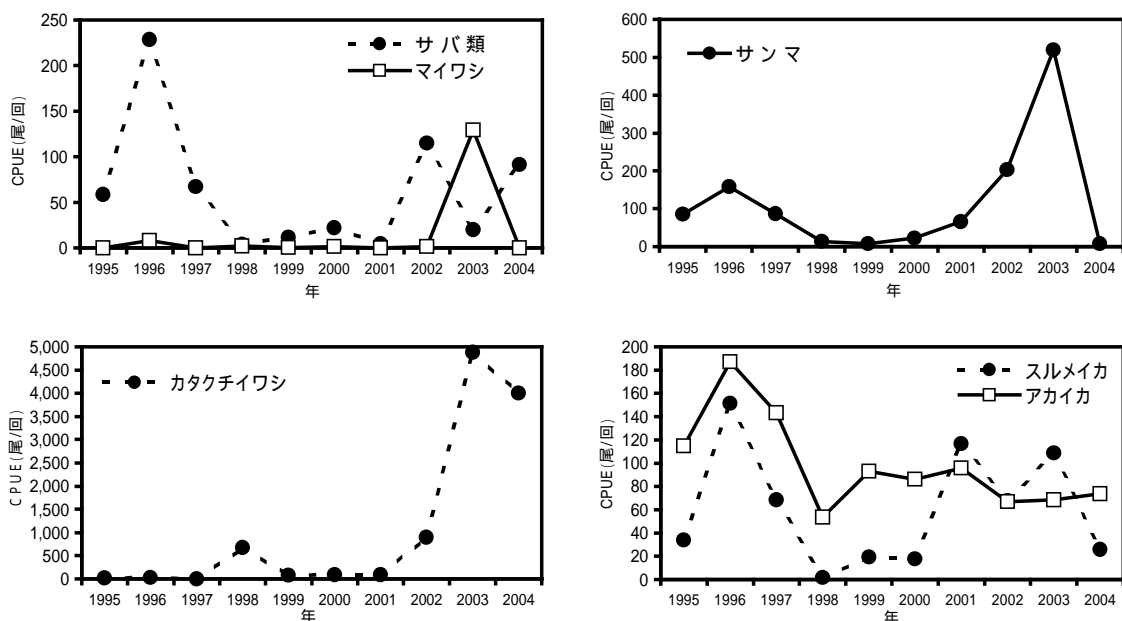


図2 流し網調査1回あたりの漁獲尾数(CPUE)の経年変化